

---

# 練習という名の就活からの現実逃避(仮名)

罪袋

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

練習という名の就活からの現実逃避（仮名）

### 【Nコード】

N7997T

### 【作者名】

罪袋

### 【あらすじ】

トラベラー書く時間ねえ・・・とか言いながらあまりに辛い就活からの現実逃避でつい書いてしまった。ほんとばかだよねえ俺。こっちは本当に妄想なので更新するかしないかも分かんね。とりあえず大帝国面白かった！

## 妄想その1 (前書き)

ん、言わずもがな。適当に見てってください

## 妄想その1

統一宇宙暦939年、ドクツ、エイリス、ガメリカ、ソビエトなどの多くの大国が様々な思惑を心に秘め、戦争を始めた。後に第一次及び第二次宇宙戦争と呼ばれるものである。この幾度に渡る国と国をかけた戦争に日本帝国は大国の圧倒的な戦力を相手に、時には力時には話術（そして時には夜のテクニ（ry））で以てこれを制し続け、ついにはすべての国を併合してしまった。大日本帝国歴の始まりにして大日本帝国時代の幕開けである。そして、この戦争にて一番大きな功績を残し、あまつさえこの者がいなければ今の日本はないと誰にも言わしめる元超日本帝国海軍長官である、東郷毅はという…

「…東郷長官、もうそろそろ帝国首脳会議の時間です…？」

そう言いながら東郷の部屋へ入ってきた秋山敬一郎 海軍長官  
東郷毅の参謀であり、名実ともに最高の相棒である…はどこか  
違和感を感じていた。

静かすぎるのである。昔であれば物音が無いということも無いことはなかったのだが、戦時中に見つかった毅の妻 スカーレット・

東郷がいる今、全くの無音ということはありません。

ここで、秋山の額からつつーっと汗が流れる。

(落ち着け…！まだ決まったわけじゃない。仮にも今は海軍長官から海軍元帥に昇進したんだ！昔のようにふらっと居なくなるなんていくら何でも…！)

と、冷や汗が止まらない秋山の目にテーブルに置いてある一通の手紙がうつる。

おそろおそろ、まるで爆弾処理班が自分の役割をはたすかのように手紙を手取る秋山。

手紙を読み……秋山の手が震えている。そして、肩まで震えてきて、まるで噴火直前の火山のように……

「東郷長か……」

爆発した。その手紙には『最近執務ばかりで家族が冷たいのでサービスしてきます。PS・俺の等身大ポップはキッチンに置いてあるよ by 東郷』と書かれていた。

？

「良かったのかしら、本当に………」

そう言いながらも、やはり最近なかった家族の団欒中だからであろう、嬉しさ半分、罪悪感半分の微妙な声色でつぶやくロングヘアーの金髪が美しい美女　　スカーレット・東郷。

彼女とは、毅がガメリカへ研修に向かったときに知り合い、様々な出来事があり、結婚した東郷毅の妻『だった』。

過去形なのは、最近まで行方不明だったという事実からである。毅が結婚し、娘が生まれ、これからという時にそれは起こった。

数万光年離れた星と星を移動するために利用される『ワープゲート』  
。それが航海中に突如原因不明の暴走を起こし、スカーレットを乗せた指令艦隊を飲み込んだのだ。

もちろん、その時に生じたワープゲートはどこに繋がっているかもわからないし、もう一度同じ場所がつながる可能性も天文学的数値に満たない。実質『死んだ』事になっていた。

事件当初は毅も現実を認めることができず、周りには気丈にしているても、一人になると陰鬱な表情をしていた。それを見ていた娘、真希も毅に迷惑をかけないよう、明るく振舞っていた（それを見て毅は自分の過ちに気づき、真希の為にこの世界を平和にしようと誓う）。

そして、それから2年後、戦争が始まり、毅が長官を務め、戦局を優勢に保っていたときにそれは現れた。

謎の団体、レッドフアランクス襲来である。

いきなり現れ、日本の領地を荒らし、そして、少しでも不利になると鮮やかに撤退するという、反乱軍にしては非常に優れた団体であった。

そして、その指揮に違和感を持ち、毅はレッドフアランクスを追いかけて、気づくことができた。

その指揮者はかつての妻、そしてワイプゲートに飲み込まれたはずのスカレットだったのだ。

疑問と歓喜を浮かべた毅。しかし、スカレットは、自分のことを覚えていなかった。

まあ、それからいろいろあり、（大帝国をやってくだしあby作者）記憶を取り戻すことができ、毅は夫婦に戻ろうと言うのだが、

「私が2年間もいなくて、いきなり帰ってきて夫婦に戻るなんて申し訳ないわ。それに、今まで毅さんを慕ってきている娘達にも悪いでしょう?」

と、普通の女性であれば決して言わないことを言う。さらに、

「私も、他の娘達と変わらないうように扱ってください。それで、毅さんがみんなを幸せにできたら私ももう一度結婚しましょう?」

と、のたまう始末。さすが、日本最強のプレイボーイの妻。肝が据わっているどころの話じゃない。

こうして、夫婦（恋人寄り）となった東郷に死角はなかった。より一層平和に対する希望が強くなり、そして、もともと指揮官としては負け知らずの毅をして『模擬戦の勝率は6分だった』と言わしめる東郷妻・スカーレットも参戦し、それからは実質負け知らずの戦争となった。

その妻（仮妻か？）スカーレットは今、娘の真希と遊びながら横で鼻歌を歌いそうなくらい機嫌よく舵をとっている毅を心配そうに見ながら、しかし嬉しそうに言う。

「はっはっは、秋山のことなら問題ない。俺がいなければ処理できない案件はすでにすべて俺がやっておいた。それに堅苦しいのは苦手だね。ああいうのは秋山に任せておけばむしろうまくいく」

「パー、アッキーも連れてくればもつと楽しかったのに」

「真希、さすがに俺と秋山が居なくなると帝はともかく宇垣殿と利古里ちゃんに怒られるさ。今度行く時に秋山も連れてくればいい」

そう毅が言つと、真希は「今度も連れてつてくれるの！？わーい！  
！」とはしゃぎながら両手を上げて喜ぶ。

それを見て、毅とスカーレットは改めて平和を噛み締めるのであった。

？

お・ま・け

「……………秋山くん」「秋山殿……………」

「はーい」

ここは、日本帝国の会議場。そこには、戦時中から今まで、共に肩を寄せ合い戦ってきた戦友が今は眉を寄せ合っている。

帝 日本帝国の頂点。歳若い少女だが実質現人神のような存在「としてはフレンドリーだが  
(攻略済み)

宇垣さくら こんな名前だがれっきとした男(しかもやたら敵つい)。外務長官であり、様々な外交に手腕を振るってきた。

山下利古里 陸軍長官。海軍である東郷が落とした戦域を支配する部隊の長官。長い間海軍との確執があったが、和解。共に切磋琢磨し合った戦友であり、大人の関係でもある。

帝を抜かした2人が無然とした表情で立っている秋山を半眼で見つめている。

「東郷はなんだかとてもペラペラになりましたねー」

帝は割とよくあるスケープゴートに慣れきっている(むしろ最初から動じていなかったか)

「どうしましたか？山下長官に宇垣長官」

「「どうしたもこうしたもあるかー!!」「」

秋山と帝はすかさずに用意していた耳栓をはめ込み、難を逃れた。これもよくある光景である。

「なぜ東郷は出席していないんだ！これは大事な会議だぞ!?!」

「あいつは海軍元帥としての自覚はあるのか！」

何気に東郷のぼうが今は上官となっているが、東郷が飄々としてい  
ることもあり、上司部下という関係にはなっていない。

「まあまあ、それは私が言いたいですよ。とりあえず、東郷長官が  
居ないとできない書類についてはもう出来ていますし……」

「確信犯か（だな）……」

そういうと宇垣も利古里もがくつと頭を垂れる。まあ、いつも通り  
だ。

「はいはい、それじゃあ会議を始めますよー」

そうやって会議を始める帝も慣れきっているようだ。  
そうして、秋山の胃へのダメージが増えていった。

犬神「あれ？わし忘れ去られてる！？」

犬神 日本を見守るフレンドリーな神様。こちらはまごう事無  
き神族。刺しても撃墜しても死なないハイブリッド犬。詳しくは本  
編参照。説明終わり。

「終わりっっ！？」

## 妄想その1 (後書き)

まあ、この設定で良かったらいいね。できなかつたら残念。俺に内定を  
くださいあ・・・orz

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7997t/>

---

練習という名の就活からの現実逃避(仮名)

2011年10月7日03時06分発行